

COMPASS 神埼リーフ

令和5年度

事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和5年10月27日

公表日：令和6年3月29日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1		7	普段は学習スペースと活動スペースを分けてはいますが、活動内容によっては活動スペースと学習スペースを合わせて広いスペースを作ることに対応しております。また、その都度職員の見解を聞きながら対応していこうと考えております。部屋の区別化を図るために棚などで仕切りを作っております。		
	2		7	職員配置人数は足りていますが、言語聴覚士や作業療法士、保育士があと一人でもいると業務がさらに円滑に進むとともに専門職からのアドバイスによる療育の幅も広がると考えております。しかし、現在でも児童発達管理責任者、児童指導員、保育士、専門職などの有資格者の配置をしております。		
	3		3	4	玄関外に小さな階段はありますが、職員の見守りや手を驚いで昇降しております。屋内は比較的段差はなくバリアフリーとなっております。また、学習スペースと活動スペースは視覚的に分かりやすいように仕切っております。	学習スペースと活動スペースの間隔が近いので、声量には気を付けながら、対策として音量指標をラミネートし掲示しております。また、戸建てと部屋の構造上設備等で気になる部分はありますが、手洗い場やトイレなどには踏み台を置き手洗いや排泄がスムーズに行えるように対策しております。
	4		6	1	朝夕やおやつ後、児童送迎後に掃除機をかけて清潔感を保つように心がけております。また、学習時は活動している児童が目に入らないように机の向きを工夫しております。	朝夕やおやつ後の後だけに限らず夕方や時間があるときにも掃除を行うように心がけ、いつでも清潔感を保つように努めてまいります。
業務改善	5		7	朝礼の際に必要な伝達事項を共有しております。その中に目標や振り返りも行ってあります。申し送りノートを活用することで過去の伝達事項が確認できたり、その日休みだった職員が後日、確認できるように工夫しております。		
	6		7	保護者様のご意見、それに対する対策を書面、口頭で周知し職員一人ひとりが意識をし業務改善につなげております。		
	7		7	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開していきます。	
	8		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。	
	9		5	2	コロナウイルス感染予防のため外部研修は控えておりますが、社内研修には全職員が参加し理解を深め業務の資質、知識の向上に努めております。	社内研修のみならず、外部研修にも積極的に参加を行い、職員の資質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	10		7	保護者様との面談をもとにアセスメントを行っております。また、アセスメントに加え遊びや運動を通して評価を行い支援計画を作成しております。		
	11		7	標準化されたアセスメントツールを使用し、状況把握や課題の抽出を行い支援の向上に努めております。		
	12		7	保護者様のニーズをお聞きし、ガイドラインに沿って必要な項目に対し具体的な支援計画を作成しております。		
	13		7	支援計画会議を行い情報の共有を行っております。また、毎朝の朝礼で利用児童の気になる点や変化した点などの情報共有を行い日々の支援向上に努めております。		
	14		7	職員で話し合いを行い、さまざまな職種の視点からの活動を提供できるようにプログラム立案を行っております。		
	15		7	限られた空間や道具を使用するため固定化にならないように気を付けてプログラム立案を行っております。また、同じ活動でも内容を変更して提供しております。		
	16		7	児童の利用状況や保護者様のニーズに合わせて、集団活動や個別活動どちらが必要でどちらが適しているのかを考えて支援計画を作成しております。		
	17		7	毎朝、申し送りを行っており児童のこと等で気づきや課題の情報共有を行い、学習担当や送迎担当など役割の確認も行っております。		
	18		2	5	支援終了後には送迎等の時間の兼ね合いで行うことは難しいですが、翌朝の朝礼時に情報の共有を行っております。	シフト制の為、全職員ではありませんが、その日休職だった職員には申し送りノートにより情報の共有を行っております。
	19		7	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。		
20		7	定期的にモニタリングを行い、目標達成の有無や変更の有無の見直しを行っております。			
関係機関や保護者様との連携	21		2	5	基本的には児童発達支援管理責任者が参加していますが、契約したばかりの児童などの場合は児童発達支援管理責任者に加え職員も参加し、より多くの情報を共有できるように行っております。	これからも全職員の意見を聞き、より正確に多くの情報を共有し、支援の改善に努めてまいります。
	22		2	5	必要に応じて各関係機関と連絡を取り情報交換を行っております。	引き続き、各関係機関との連携を図り、職員周での情報共有を行い支援の向上に努めてまいります。
	23		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。	
	24		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。	
	25		7	担当者会議や送迎時にご利用の様子や気になることの情報共有を行い、支援内容等の共通理解に努めております。		
	26		7	主に送迎の際や電話や訪問の際に、情報共有を心がけております。		
	27		7	新型コロナウイルス等の感染予防から研修は行っておりませんが、必要に応じて電話にて情報の共有を行っております。	感染症の様子を見ながら研修への参加は今後の課題と思っております。しかし、引き続き必要に応じて電話での情報の共有は行っていきたいと考えております。	
	28		7	現時点では外部との交流機会はありませんでした。	新型コロナウイルスのみならずインフルエンザ等の感染症が流行しているため保護者様の意見も考慮し要検討してまいります。	
	29		7	現時点では機会はありませんでした。	新型コロナウイルスのみならずインフルエンザ等の感染症が流行しているため保護者様の意見も考慮し要検討してまいります。	
	30		7	日頃から児童の状況を保護者様と話し合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている。		
保護者様への説明責任等	31		4	3	保護者様からご相談を受けた際には、職員間で情報共有を行い解決策を考え保護者様にお伝えしております。	引き続き、職員周での情報共有を行い、より良い解決策のご提案ができるように努めてまいります。
	32		7	契約時にわかりやすいようにご説明しております。また、ご不明な点がございましたら、いつでもご連絡していただくようご案内させていただきます。		
	33		7	保護者様の情報を基にガイドラインに沿って支援計画を作成しております。また、保護者様にご説明する際は、わかりやすい言葉に言い換えてお伝えしております。		
	34		7	連絡帳や送迎の際にご相談をお聞きし対応・アドバイスを行っております。また、難しい相談は一度事業所で話し合った後、再度お伝えしております。		
	35		7	感染予防の為に控えさせていただいております。	新型コロナウイルスのみならずインフルエンザ等の感染症が流行しているため保護者様の意見も考慮し要検討してまいります。	
	36		7	保護者様からのご相談等は迅速かつ丁寧に対応させていただきます。		
	37		7	必要に応じ会報を発行し保護者様には周知しております。また、毎月の事業所カレンダー等で活動の様子をお伝えしております。		
	38		7	ご来客者様との会話の中では個人情報に十分注意しながらお話をしております。また、個人情報扱う書類等は鍵付きの書庫で保管しております。		
	39		7	視覚的情報に加え口頭での説明を行い、より情報が伝わりやすいように考え伝達しております。		
	40		7	個人情報の保護や感染予防の為に控えさせていただきます。	保護者様のご意見やさまざまな視点から課題を解決し要検討してまいります。	
非常時等の対応	41		7	各対応マニュアルを策定し事業所内に設置しております。また、定期的にさまざまなパターンを想定した訓練も実施しております。		
	42		7	定期的に非常災害の訓練を行っております。また、行った訓練に対し改善点や改善策を話し合い非常災害時にスムーズに対応できるように努めております。		
	43		7	連絡帳や電話、送迎時などを通して保護者様との連携を図り、服装に対する副作用などの情報を把握し職員間で情報共有をしております。		
	44		2	5	全児童のアレルギーの有無を確認しアレルギーがある児童に対しては、どのようなアレルギーなのかを全職員で共有しております。	全児童のアレルギーの有無を確認し共有しておりますが、現時点で医師の指示書を要するまでのアレルギーの児童がおりませんので、今後対象児童がご利用される場合は医師との連携を図ってまいります。
	45		4	3	ヒヤリハットがあった際には、記録を行い原因追及や改善策を考え全職員に周知しております。	ヒヤリハットがあった際には、記録を行っておりますが、今後も些細なことでもヒヤリハットとして記録を行い利用児童が安全に楽しく過ごせるよう努めてまいります。
	46		7	事業所内にて定期的にマニュアルに沿って研修を行っております。研修を基に適切な対応をするように日々努めております。		
	47		7	利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ずおこなう場合は、保護者様の同意を得るようにしております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。